



### 高い崖があるわけ 海岸段丘①

浜田集落の田圃と本館集落の田圃の境目は高い崖になっています。この崖はどのような形でできたものでしょうか。もちろん人が削って作ったものではありません。自然の力が作り出した芸術品とも言えるものです。

写真で見るとこの崖と本館の田圃とつながっている平らな面をつくるには、次の3つの事柄が起こる必要(条件)があります。

- 条件① 海面の高さが変化したりしなく、また土地の高さも変化がない事。
- 条件② 海面の高さが大きく変化することがあります。その変化がある事。
- 条件③ いつも変わらないと思っている山々はその高さが大きく変化することがあります。その変化がある事。

まず、図Iを見てください。条件①のとき出来る形です。波がどんどん陸地を削つていくところですが、削られたところは平らになります。続いて条件②が起こるとします。すると海面が下がって行き図IIのようになります。図IIを見ると海から離れた高い場所に平らな面が出来ています。現在この面が本館集落では田圃を作っていることとなります。

次にまた条件①が起こると、図IIIのようにまた波は陸地を削っていきます。すると新しい面が出来ます。これが浜田集落で使っている田圃の面です。

こうして出来た図IIIの形をみると、本館の田圃は高いところがあり、浜田の田圃は低いところがあり、さらにそれらの境目に崖が出来た訳がはつきりすると思います。図IVは現在の様子を表しています。(次号に続く)

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

八峰白神ジオパーク推進協議会  
八峰町峰浜田中字野田沢20-1  
峰栄館2階  
☎0185-70-3881